

# 施工説明書



## ディーズパティオ ルポ D・E・F

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しく組み立てをして頂くために、施工説明書をよくお読みください。

### 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

- ◆取付が不十分だと、使用中にはずれたり、転倒したりする恐れがあります。  
この施工説明書に従い確実に固定してください。
- ◆強風時等、周囲の安全が確保できない場合は、危険ですので施工しないでください。
- ◆製品の組み立てには危険を伴いますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆組み付け前に仮組みを行い、製品に問題の無いことを確認してください。
- ◆コンクリートの養生は十分に行ってください。
- ◆製品表面に付着したコンクリートは速やかに除去してください。
- ◆施工の際には手袋を着用してください。
- ◆施工中についた汚れはすぐに拭き取ってください。
- ◆ディーズパティオルポの本体は、フィルムが巻かれた状態で梱包されています。汚れ防止のため、埋め込みの際はフィルムは剥がさずに施工し、コンクリートが硬化してから壁を傷つけないように丁寧に剥がしてください。
- ◆電気・配線工事には資格が必要です。有資格者による工事を行ってください。

### 使用工具と材料

施工に際して下記の工具と材料を準備してください。

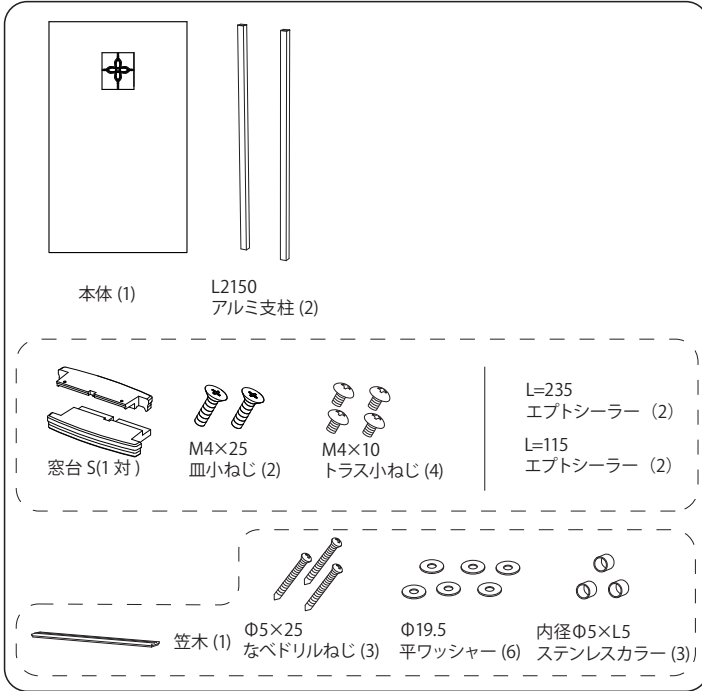
- ◆コンクリート / モルタル (基礎工事に使用)
- ◆電動ドライバー (FRP製品の取付や配線穴あけに使用)
- ◆Φ3.2ドリルキリ (FRP製品取付の際、下穴あけに使用)
- ◆Φ6ドリルキリ (水抜き穴加工に使用)
- ◆Φ20程度のホールソー (配線穴あけに使用)
- ◆接着剤 / シリコン系コーキングタイプの接着剤 (笠木固定と支柱固定に使用)  
/ 2液性エポキシ接着剤・5分～30分硬化型 (オプション製品取付に使用)



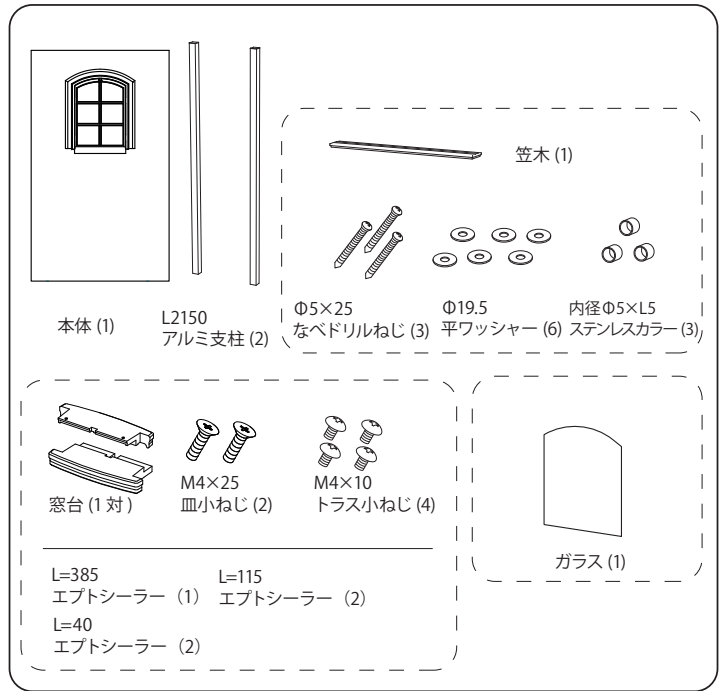
**溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。**

# 梱包内容

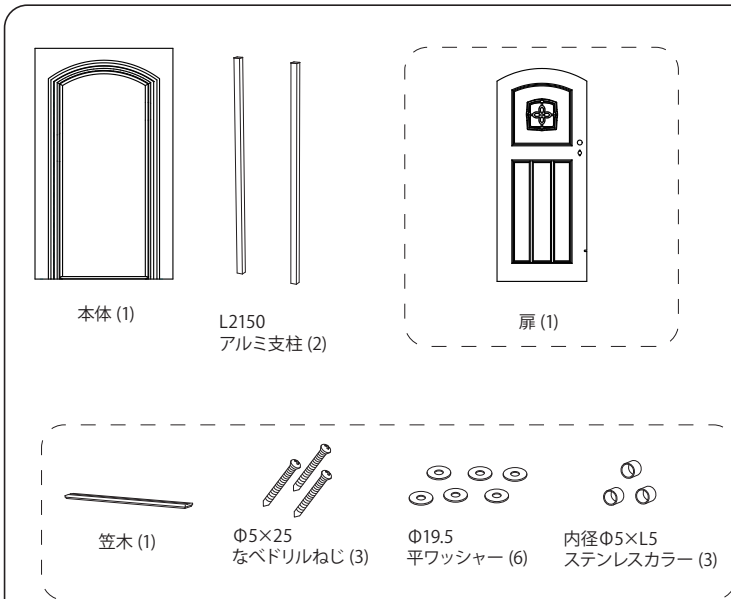
## <ルポD>



## <ルポE>



## <ルポF>



### 扉部品セットA [DPAP008]

名 称	数量
<b>ヒンジセット</b>	
ヒンジ	2
スペーサー	2
M4×10 超低頭ねじ	12
<b>戸当たりセット</b>	
戸当たり	1
M5×10 超低頭ねじ	2
<b>落とし棒セット</b>	
落とし棒	1
落とし棒つまみ	1
落とし棒ホルダー	1
落としつぼ	1
M5×10 超低頭ねじ	2
<b>ラッチ受けセット</b>	
ストライク	1
箱受け	1
M4×20 皿小ねじ	2
<b>ガラスセット</b>	
ガラス	1
M4×30六角穴付きボタンボルト	4
M4小ワッシャー	4
六角レンチ	1

### 片開きラッチ錠ハンドルセット右勝手用 [DRBJ121-AR]

名 称	数量
錠・ハンドルセット右勝手用	1

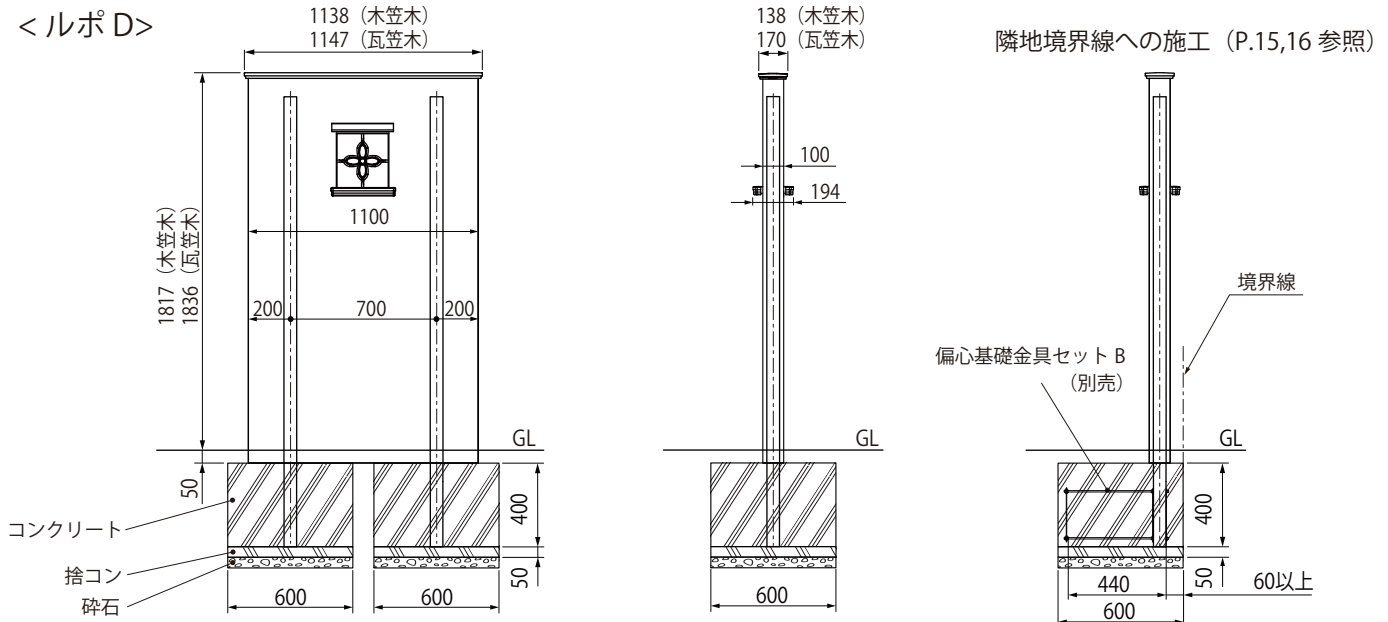
### 片開きラッチ錠ハンドルセット左勝手用 [DRBJ131-AL]

名 称	数量
錠・ハンドルセット左勝手用	1

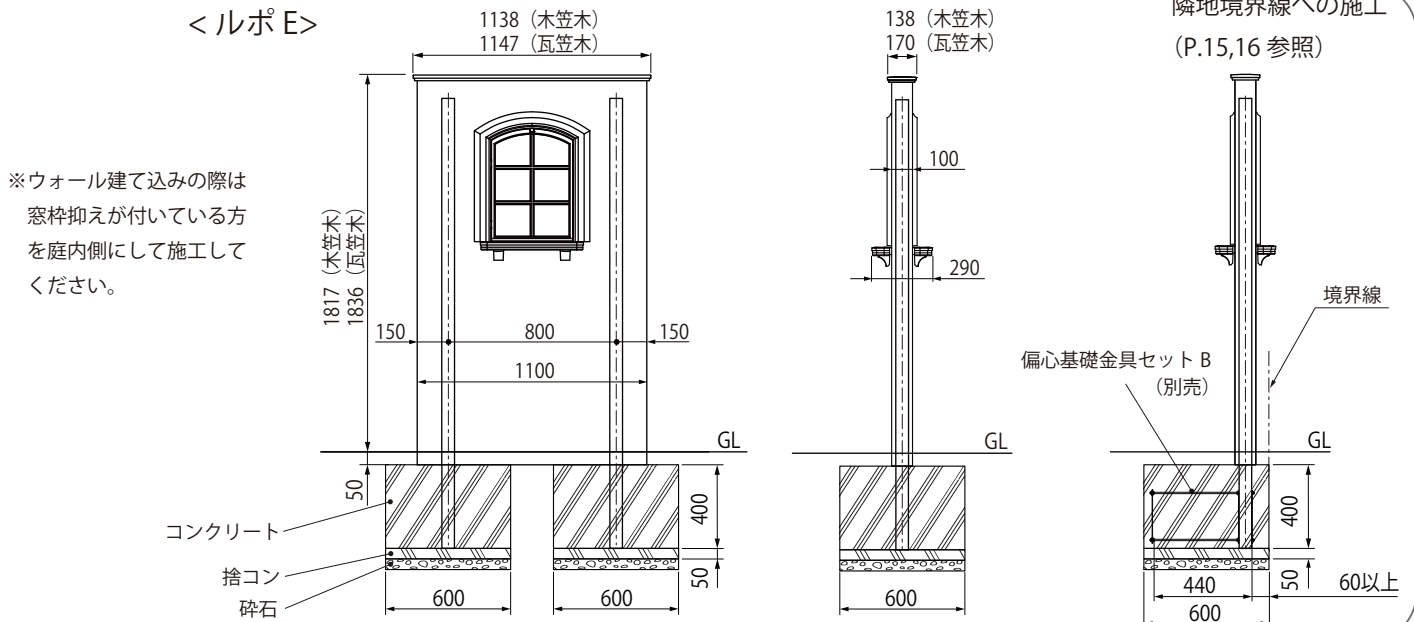
どちらか片方

# 施工寸法図 (寸法単位:mm)

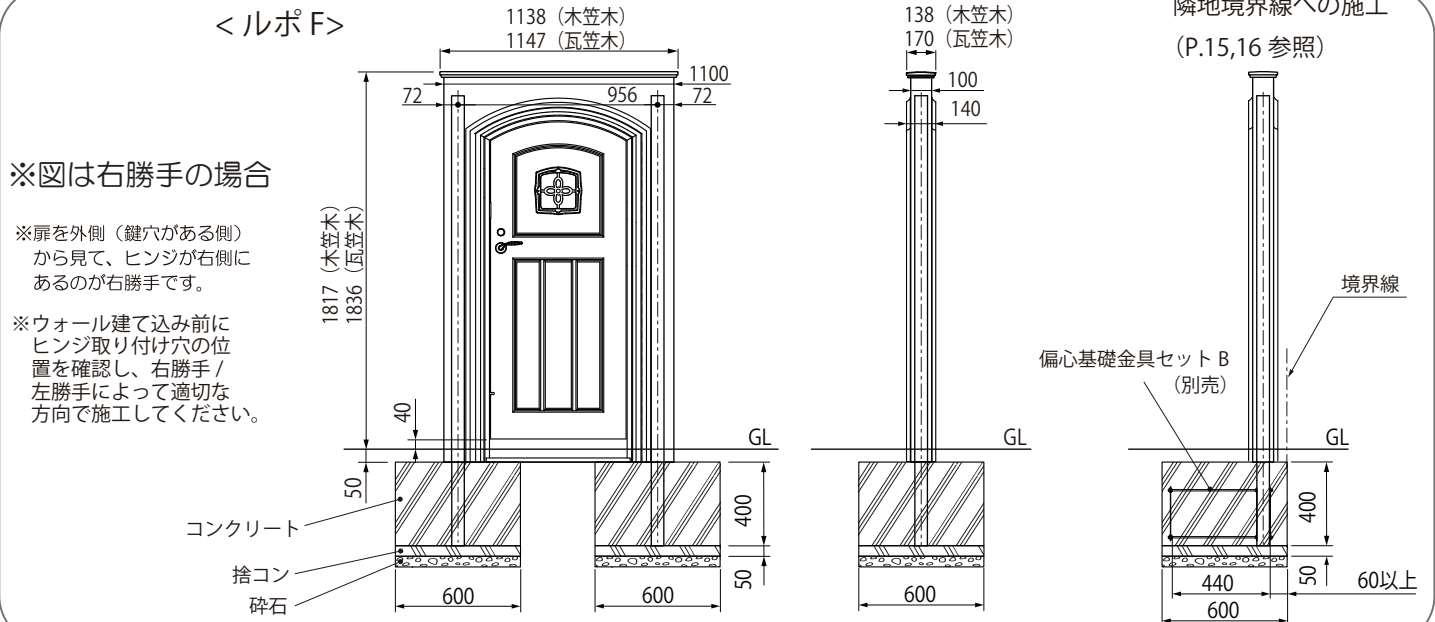
## <ルポ D>



## <ルポ E>



## <ルポ F>



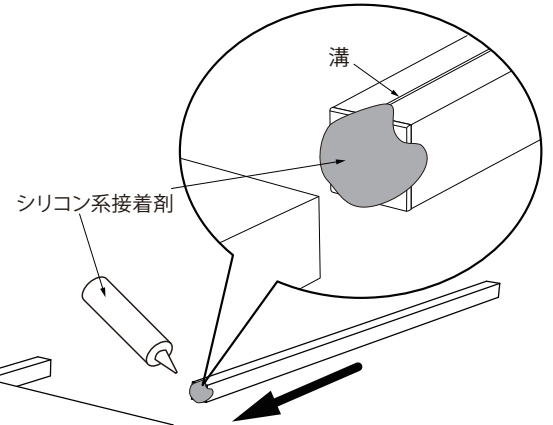
◆P. 4~6の1~5の手順は、ルポD・E・F 全て共通です。

- 1 P.3 の施工寸法図に従って基礎穴を設け、碎石を敷いた上に捨コンを打ちます。
- 2 本体にアルミ支柱と笠木脱落防止用ねじを取り付けます。

⚠ 必ず支柱の溝のある面がルポの正面にくるように挿入してください。

⚠ 溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

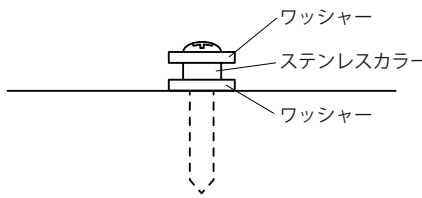
①	ルポ D 130 mm
①	ルポ E 130 mm
①	ルポ F 192.5 mm
②	ルポ D 420 mm
②	ルポ E 420 mm
②	ルポ F 357.5 mm



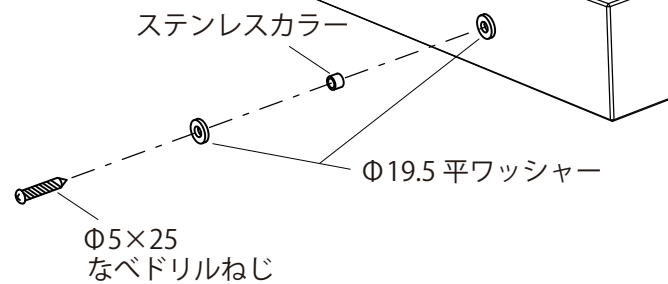
アルミ支柱先端のキャップ上に接着剤を2cm程度の高さに盛り上げるように塗り、本体に差し込む。

<ねじ部詳細>

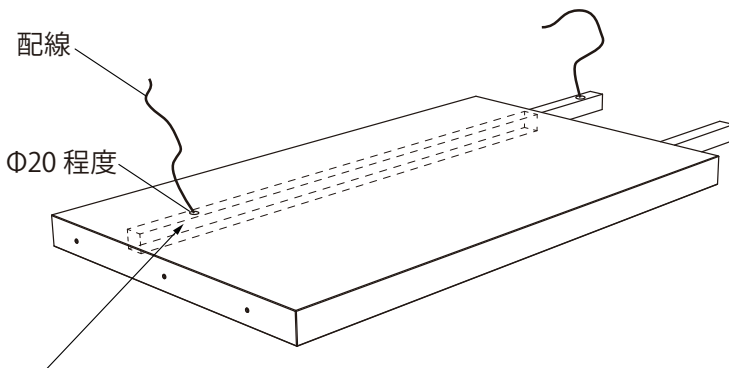
強く締め込まず、ワッシャーで止まったところで終える。



<笠木脱落防止用ねじ取付>



- 3 配線を通す場合は、必要箇所に穴をあけてワイヤー等を通します。配線穴はアルミ支柱のセンター付近にあけてください。



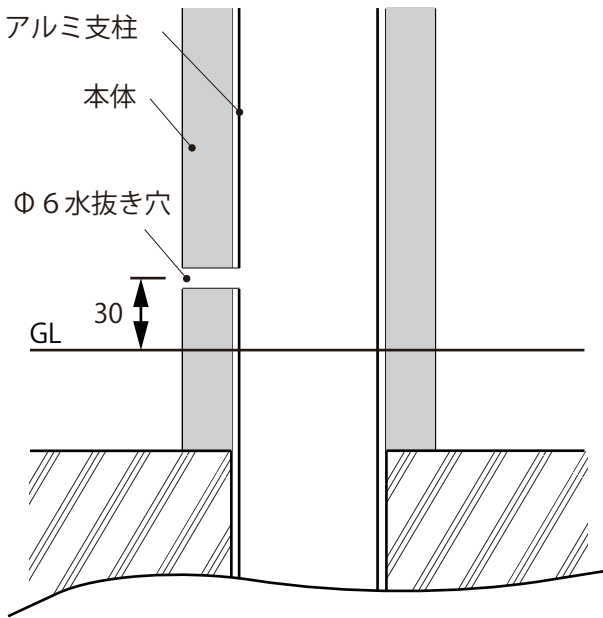
差し込んだ支柱のセンターをめがけて穴をあける。

- 4** 基礎穴にアルミ支柱を入れ、壁を建て込みます。このとき、壁の水平と垂直を出し、高さを確認した後に、添え木などで仮固定し、基礎穴にコンクリートを流し込みます。手順3でワイヤーを通した場合は、建て込み前に配線を通してください。基礎のコンクリートが完全に硬化するまでしっかりと養生し、硬化後に支柱を目掛けて水抜き穴を目立たない面の下図の位置にあけてください。

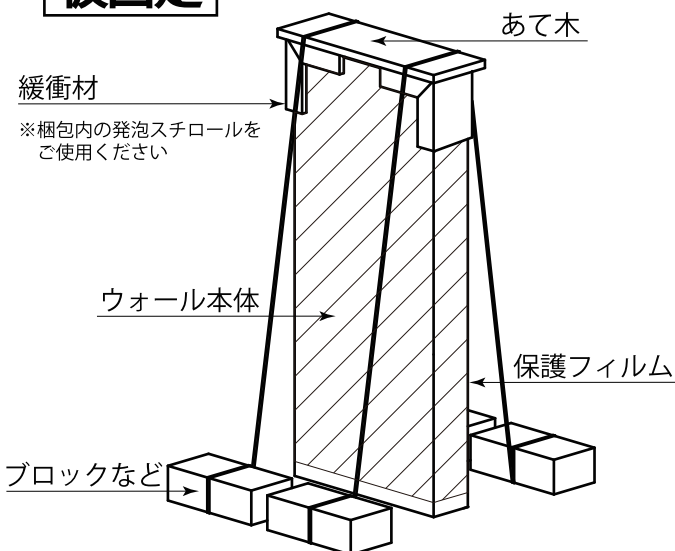
## 水抜き穴



水抜き穴は支柱内部に到達するようにあけてください。水抜き穴は両方の支柱にあけてください。柱内に配線が通っている場合は注意して穴をあけてください。



## 仮固定

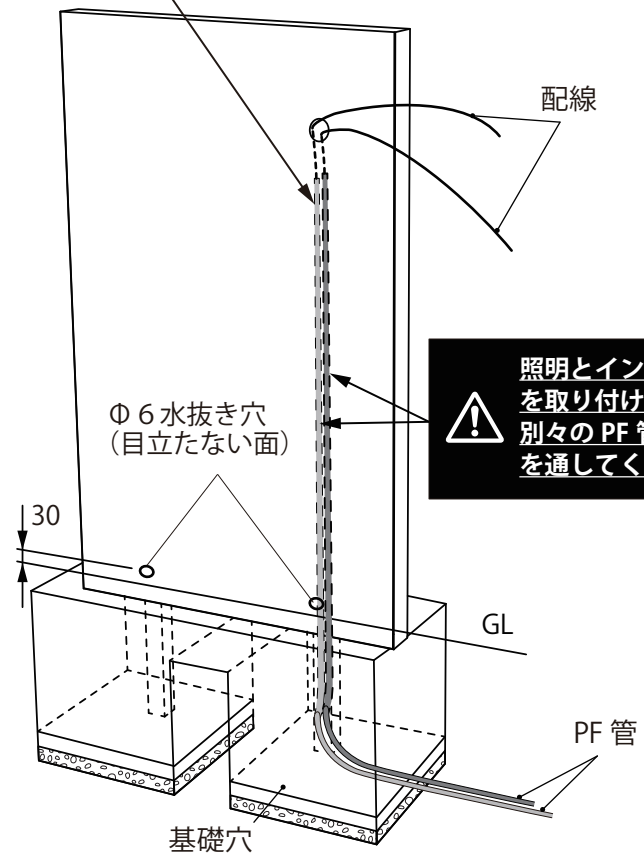


※クランプ等の固定金具は使用不可

## 配線



PF管は支柱上部まで持ち上げてください。



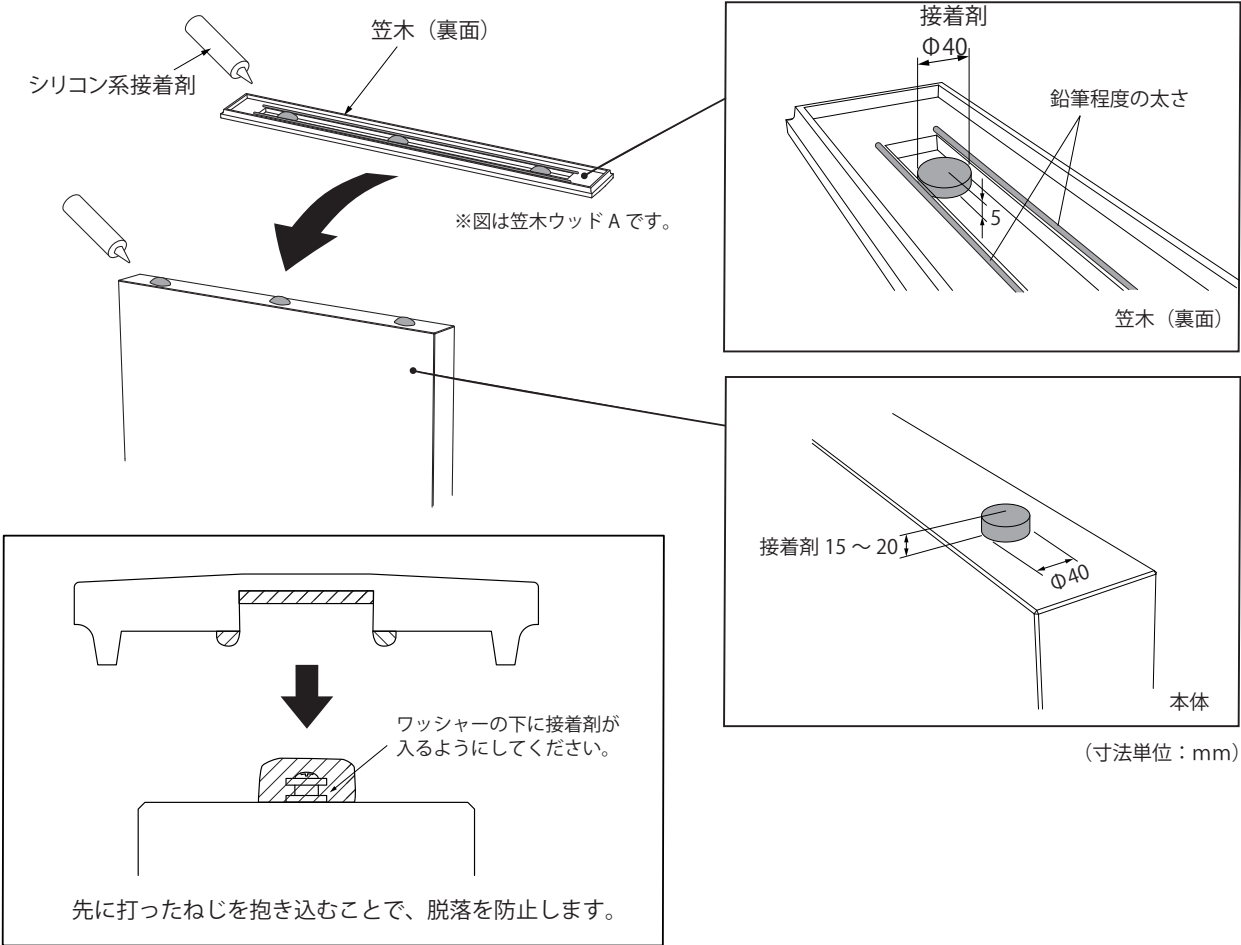
照明とインターホンを取り付ける場合、別々のPF管に配線を通してください。

※照明やインターホンの取付は、10-11ページを参照してください。

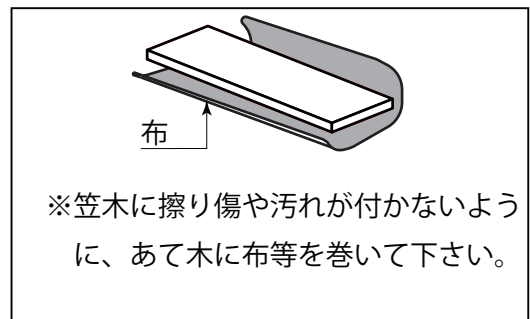
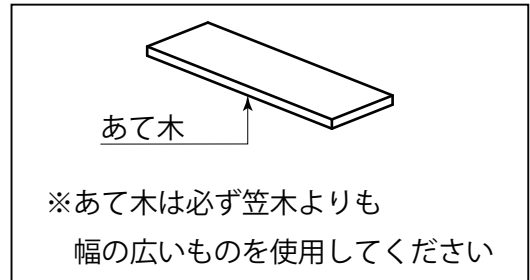
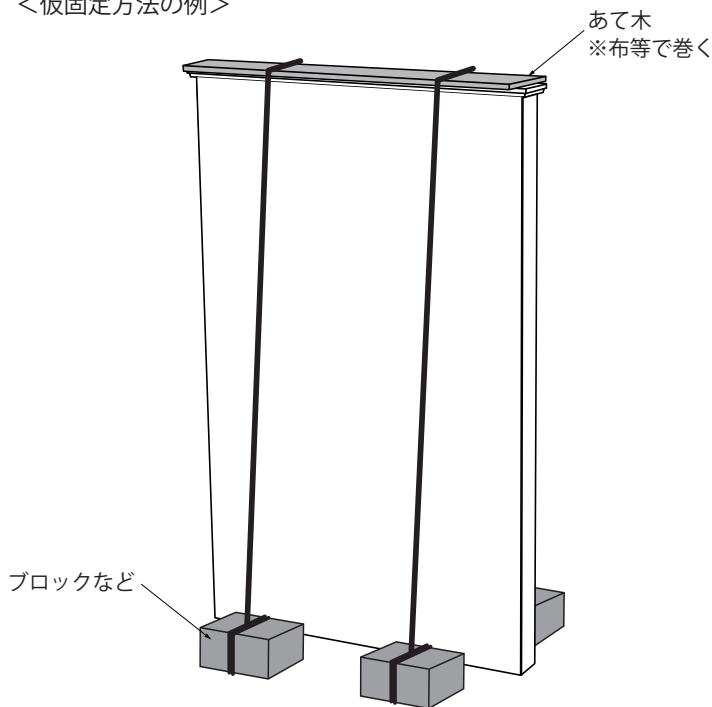


※配線は必ず本体の施工前に行ってください。  
 ※照明とインターホンを取付ける場合、互いの配線が接触しないように別々のPF管に配線を通してください。  
 ※AC100Vの電気配線に関わる工事は必ず有資格者が行ってください。

**5** 基礎硬化後、本体天端と笠木裏面にシリコン系接着剤を塗り、笠木を貼り付けて下図を参考に仮固定し、十分に養生してください。  
 (養生期間はご使用の接着剤の取扱説明書等に従ってください。)



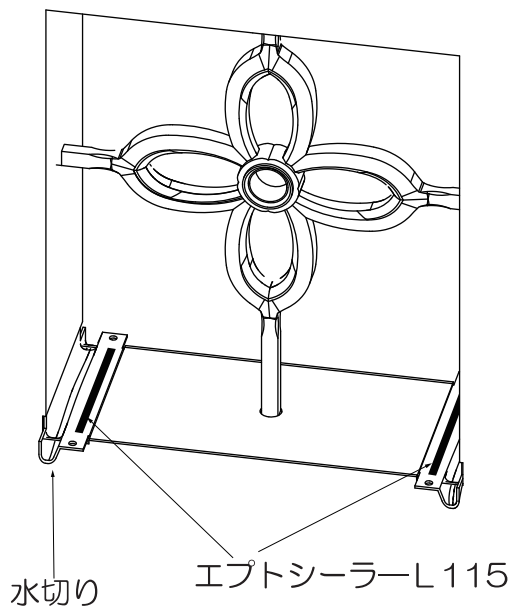
<仮固定方法の例>



- ルポ D の施工 P.7 へ
- ルポ E の施工 P.9 へ
- ルポ F の施工 P.11 へ

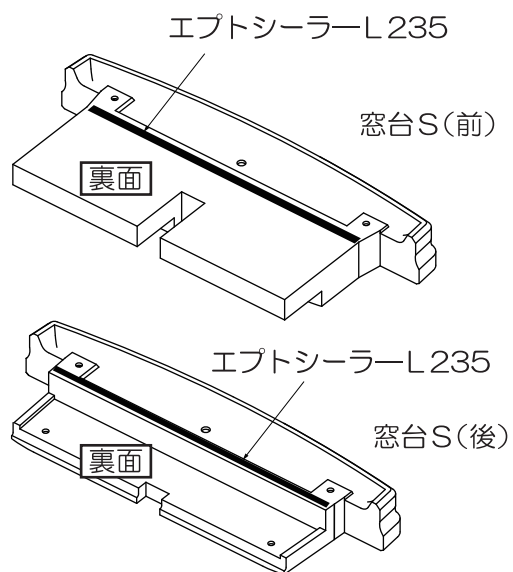
## ◆ ルポDの施工

- 6 ウォールDの水切り部分および窓台S（前）（後）の裏側に、エプトシーラーを貼付します。

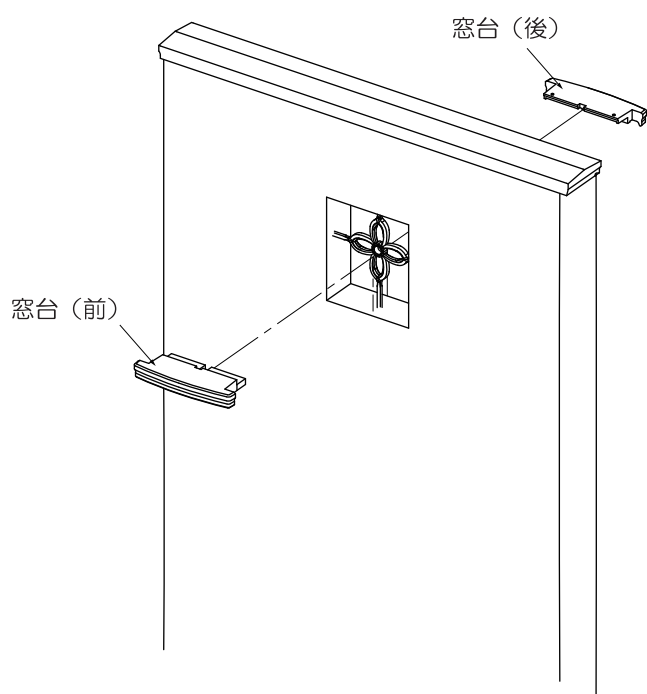


### 使用部材 窓台Sセット

名 称	数量
窓台S 前	1 /1
窓台S 後	1 /1
エプトシーラー L235	2 /2
エプトシーラー L115	2 /2

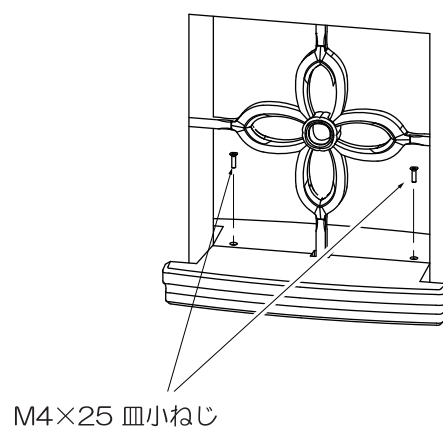


- 7 窓台S（前）（後）を設置し、M4 皿小ねじで窓台S同士を固定します。



### 使用部材 窓台Sセット

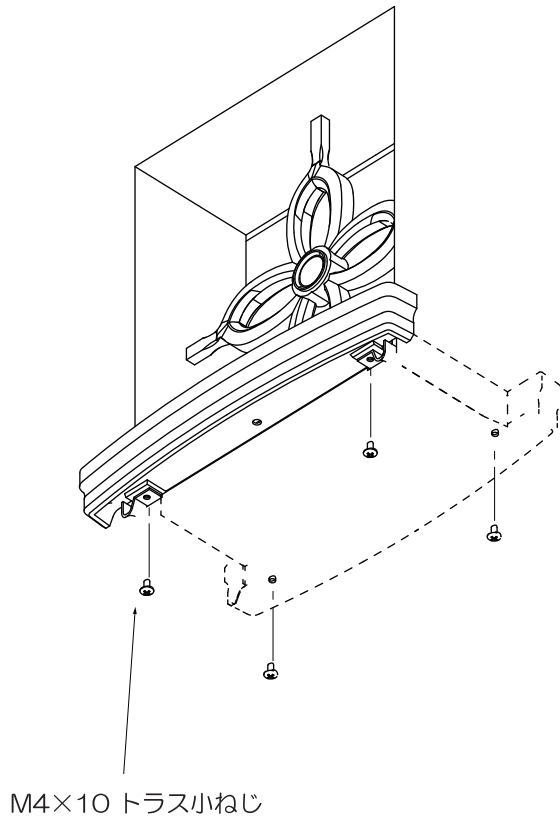
名 称	数量
M4×25 皿小ねじ	2 /2



電動ドライバーは使用しないでください。

# 8

ウォール B の水切り部分に対し、M4 トラス小ねじで窓台 S を固定します。



### 使用部材 窓台Sセット

名 称	数 量
M4×10 トラス小ねじ	4 /4



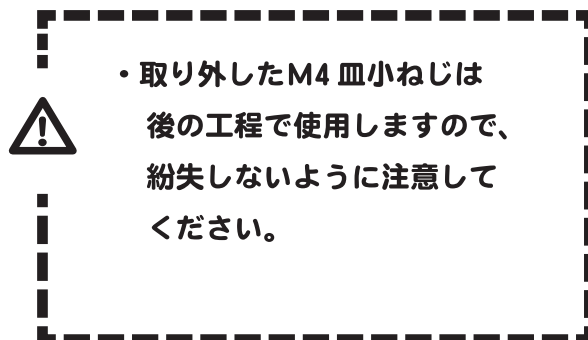
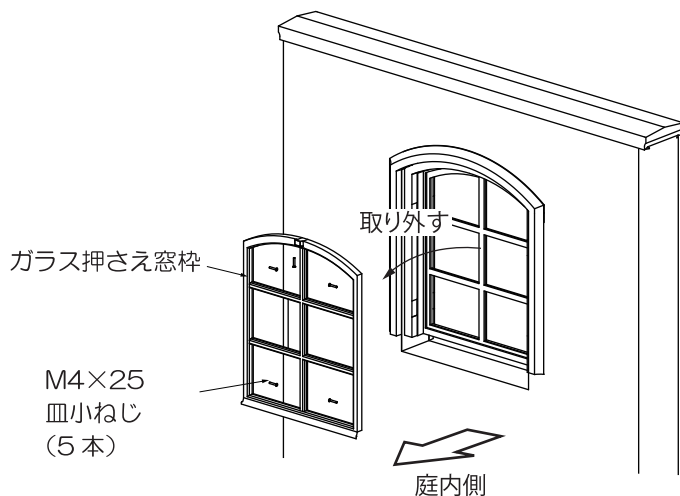
電動ドライバーは使用しないでください。

オプションを取り付ける場合 P.16 へ

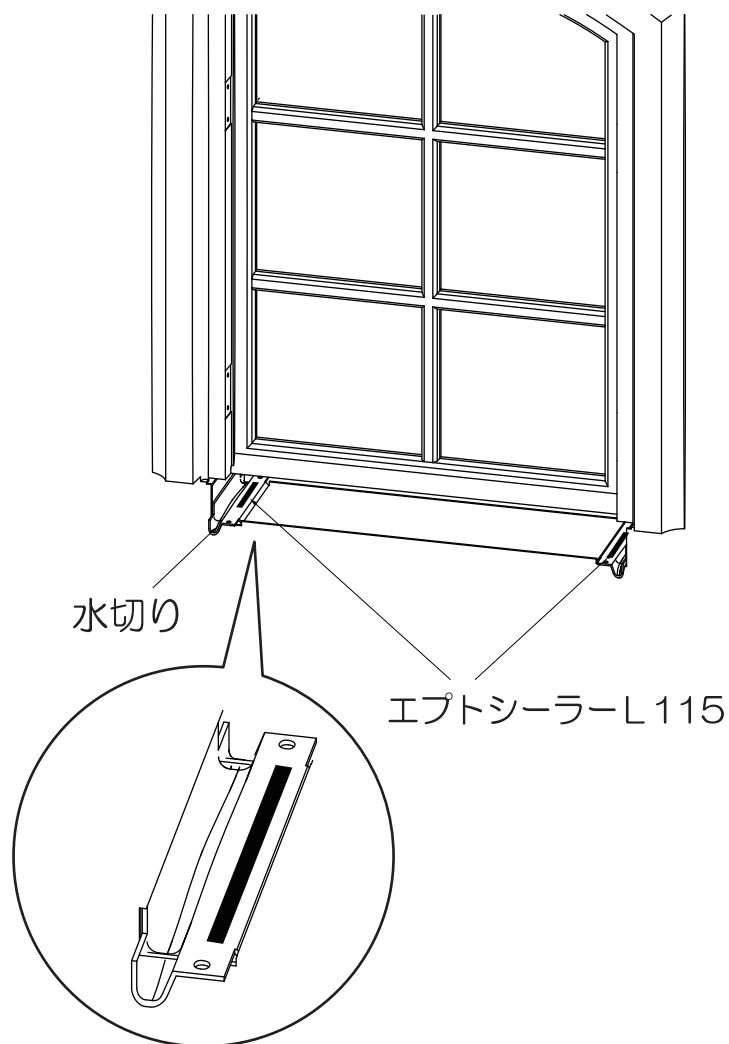


## ◆ ルポEの施工

6 ウォールEから、ガラス押さえ窓枠を一旦取り外します。

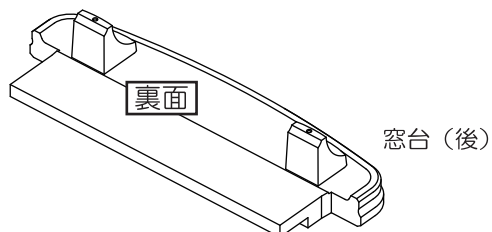
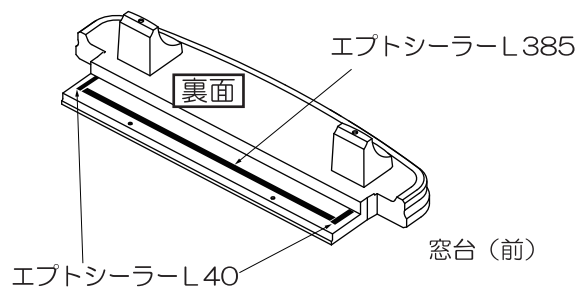


7 ウォールEの水切り部品と窓台（前）に、エプトシーラーを貼付します。



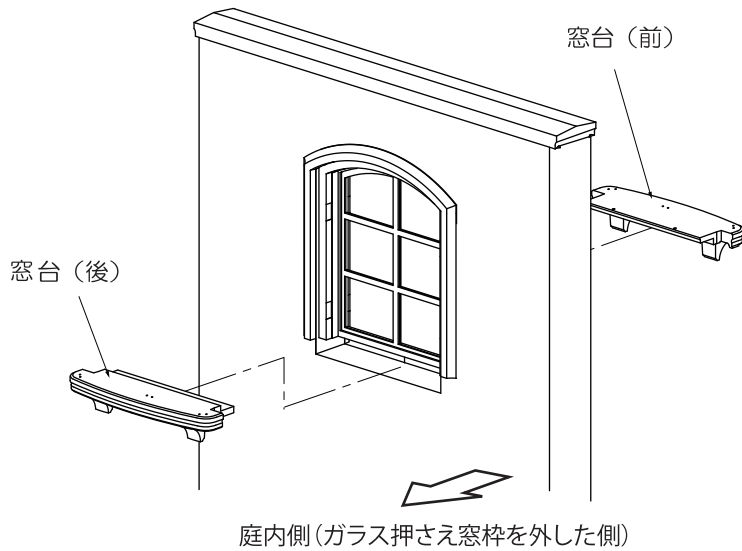
### 使用部材 窓台セット

名 称	数 量
窓台 前	1 / 1
窓台 後	1 / 1
エプトシーラー-L385	1 / 1
エプトシーラー-L40	2 / 2
エプトシーラー-L115	2 / 2



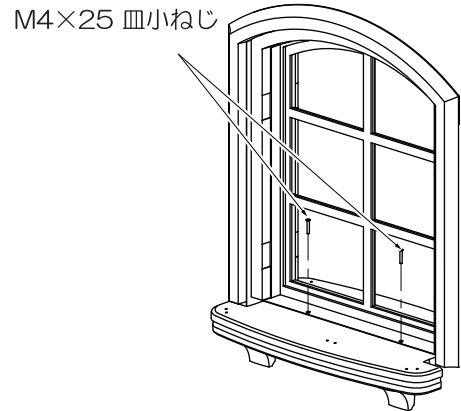
※窓台（後）には  
エプトシーラーを貼らない

8 窓台（前）（後）を設置し、窓台に付属している M4 皿小ねじで、窓台同士を固定します。



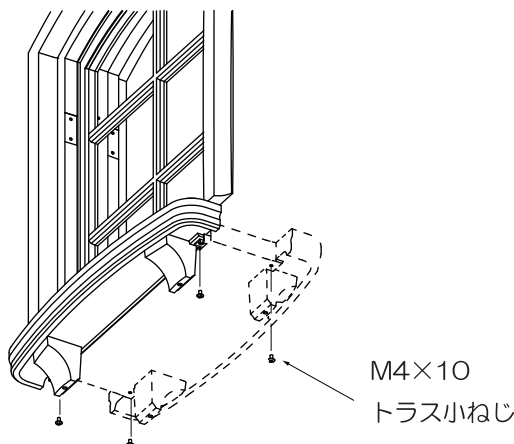
使用部材  
窓台セット

名 称	数量
M4×25 皿小ねじ	2 / 2



電動ドライバーは使用しないでください。

9 ウォール E の水切り部分に対し、M4 トラス小ねじで窓台を下側から固定します。



使用部材  
窓台セット

名 称	数量
M4×10 トラス小ねじ	4 / 4

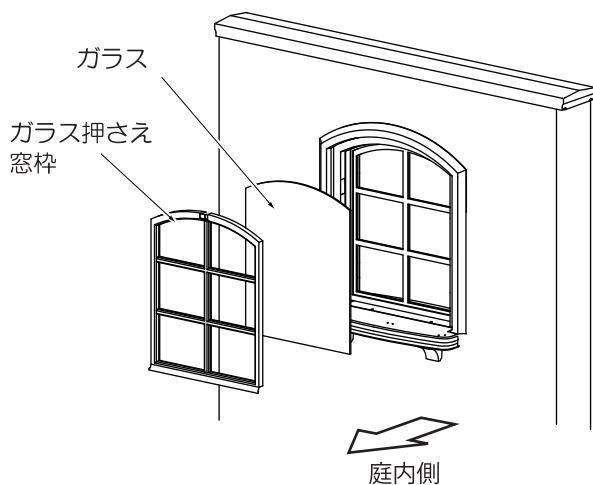


電動ドライバーは使用しないでください。

10 6で外したガラス押さえ窓枠を、間にガラスを挟んで M4 皿小ねじで再度取付けます。

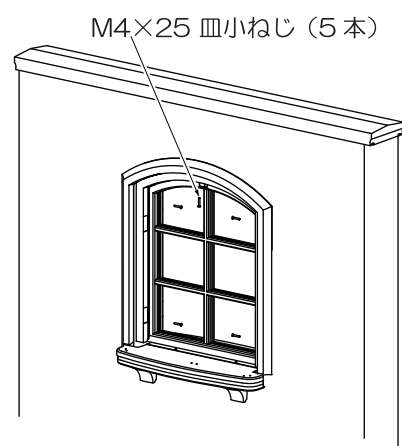


電動ドライバーは使用しないでください。



使用部材  
ガラスセットA

名 称	数量
ガラス	1 / 1



オプションを取り付ける場合 P.16 へ

## ◆ ルポFの施工

6 錠・ハンドルセットに同梱されている説明書に従い、扉にラッチ錠とハンドルを取付けます。

### 使用部材 扉セットA

名 称	数量
扉	1 / 1

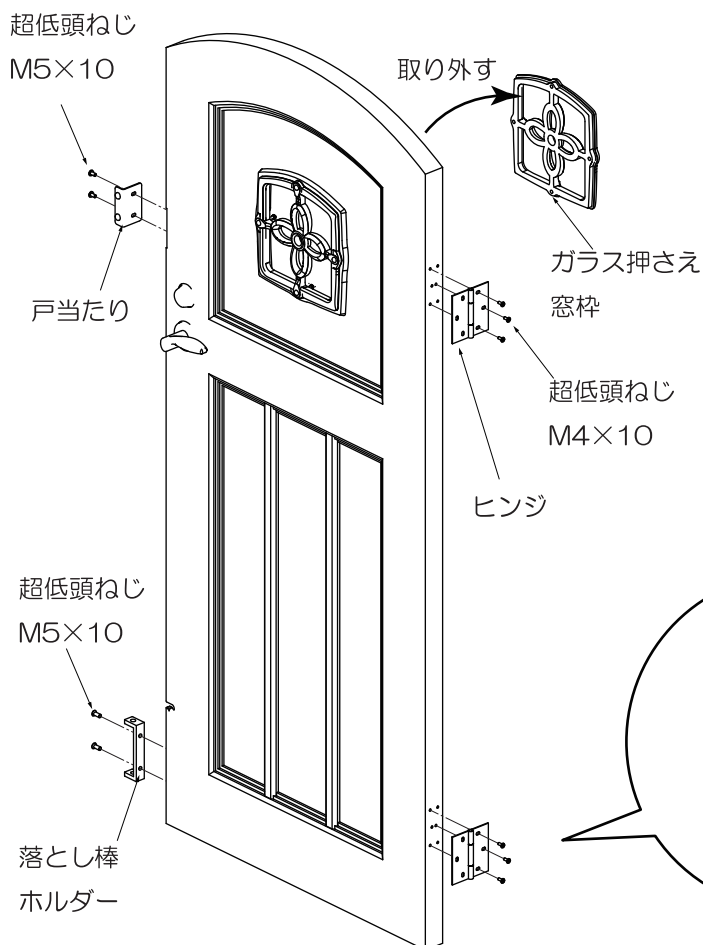
### 片開きラッチ錠ハンドルセット右勝手用/左勝手用

名 称	数量
片開きラッチ錠ハンドルセット右勝手用/左勝手用	1 / 1

7 扉にヒンジ、戸当たり、落とし棒ホルダーを取付けます。また、ガラス押さえ窓枠を一旦取り外しておきます。

### 使用部材 扉部品セットA

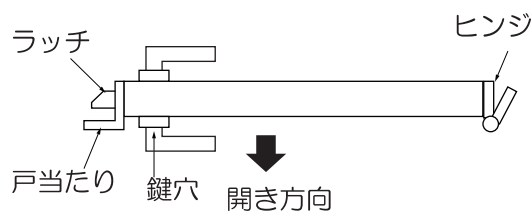
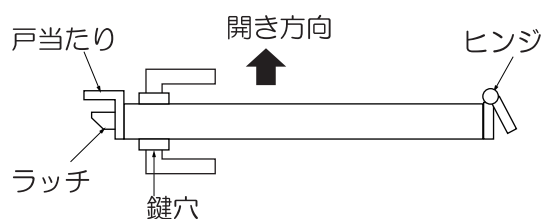
名 称	数量
ヒンジセット	
ヒンジ	2 / 2
M4×10 超低頭ねじ	6 / 12
戸当たりセット	
戸当たり	1 / 1
M5×10 超低頭ねじ	2 / 2
落とし棒セット	
落とし棒ホルダー	1 / 1
M5×10 超低頭ねじ	2 / 2



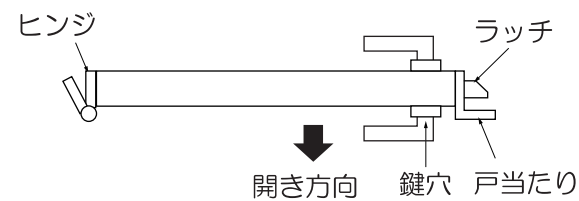
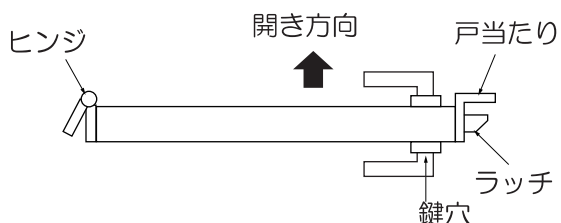
・ハンドルの右勝手 / 左勝手と開き方向によって、ラッチ、ヒンジ、戸当たりの取付け方向が変わります。

※以下は、扉を上から見た図

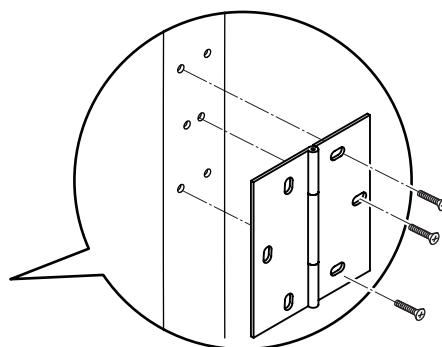
#### 右勝手の場合



#### 左勝手の場合



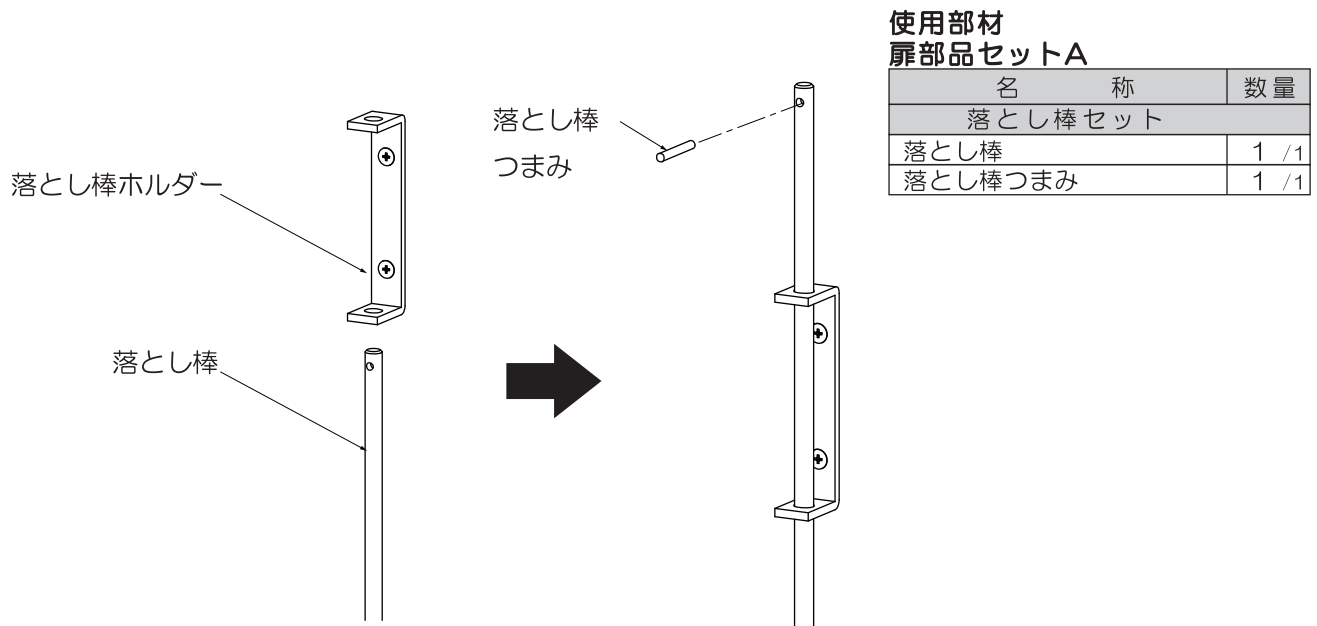
・電動ドライバーは使用しないでください。



※横向きの長穴が開いている方を扉に固定する

※ヒンジを取付ける向きによって使用するネジ穴が変わります

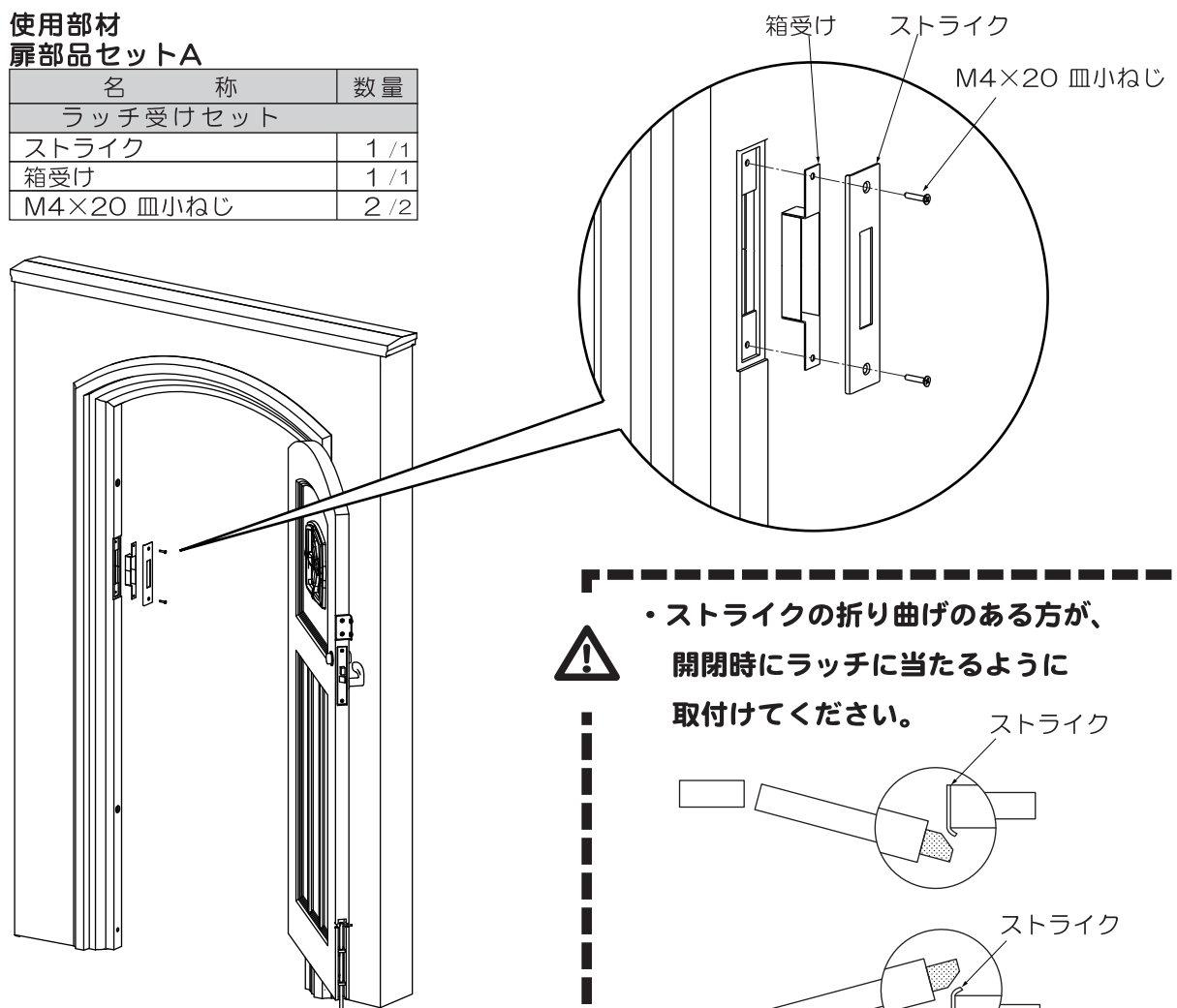
## 8 落とし棒つまみを落とし棒に取付け、落とし棒ホルダーに差し込みます。



## 9 扉枠にストライクと箱受けを取付けます。扉の開閉方向に合わせて取付けてください。

### 使用部材 扉部品セットA

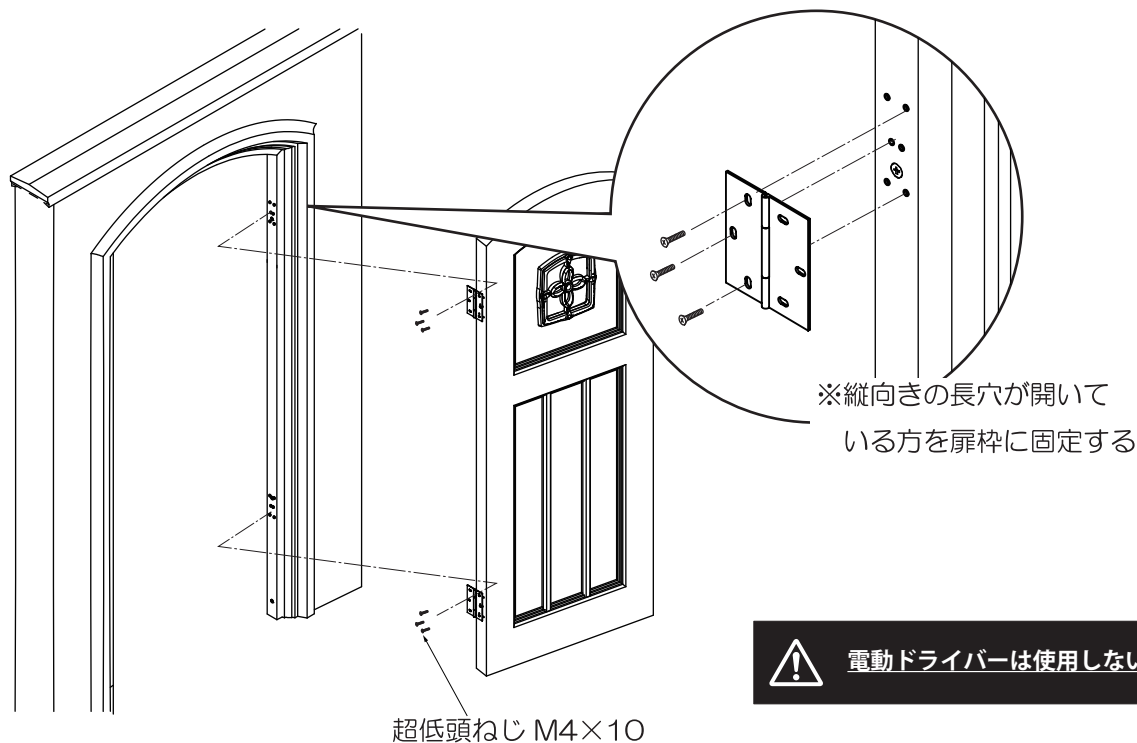
名 称	数量
ラッチ受けセット	
ストライク	1 /1
箱受け	1 /1
M4×20 皿小ねじ	2 /2



# 10 扉をウォールFに吊り込みます。

## 使用部材 扉部品セットA

名 称	数量
ヒンジセット	
M4×10 超低頭ねじ	6/12

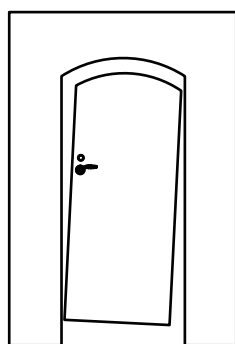


**⚠ 電動ドライバーは使用しないでください。**

# 11 扉の隙間を調整します。

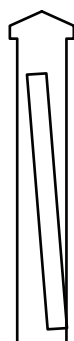
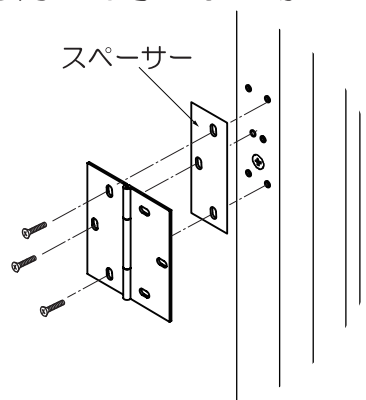
## 使用部材 扉部品セットA

名 称	数量
ヒンジセット	
スペーサー	2/2



### 扉が左右に傾いたり、左右のすき間が均等でない場合

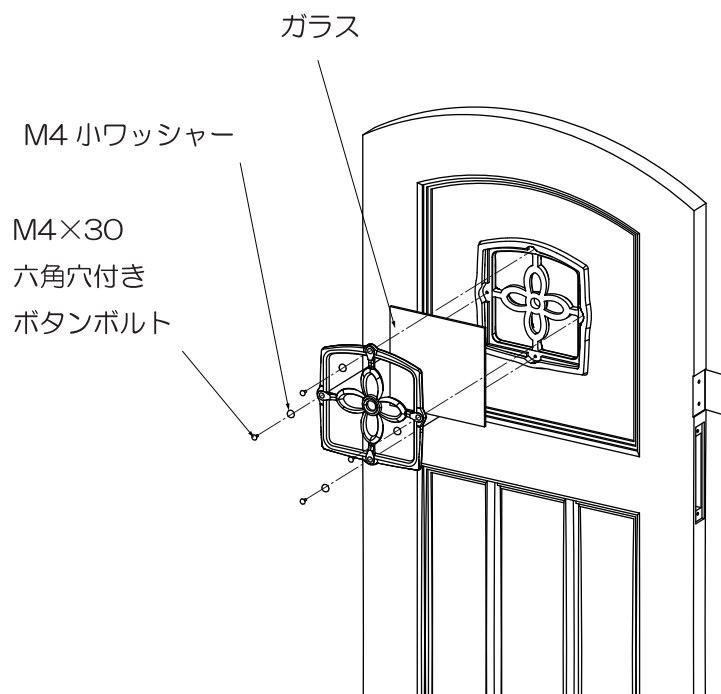
扉枠とヒンジの間にスペーサーを入れ、傾きとすき間間隔を調整します。



### 扉が前後に傾いたり、上のすき間が大きすぎる/小さすぎる場合

ヒンジを留めるねじを一旦緩め、長穴で前後左右の位置を調整します。

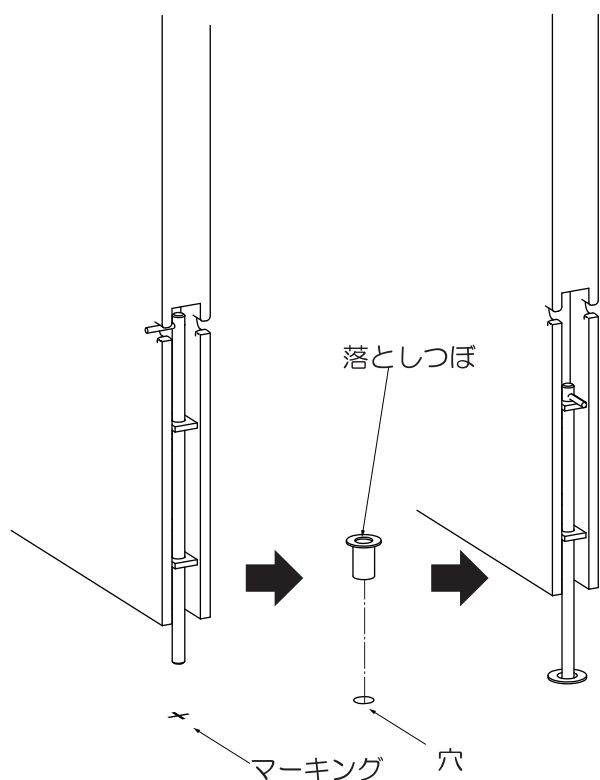
## 12 7で取り外したガラス押さえ窓枠を、間にガラスを挟んで M4 六角穴付きボタンボルトで再度取付けます。



### 使用部材 扉部品セットA

名 称	数量
ガラスセット	
M4×30六角穴付きボタンボルト	4 /4
M4小ワッシャー	4 /4
六角レンチ	1 /1

## 13 扉を開き、適当な位置に穴を開け、落としつぼを設置してください。

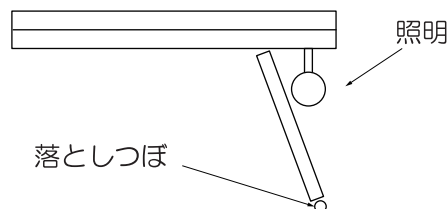


### 使用部材 扉部品セットA

名 称	数量
落とし棒セット	
落としつぼ	1 /1



- ・フラワーハンガーや照明などのアイテムを取付ける場合は、それらを取付けてから、扉とアイテムが干渉しない位置に落としつぼを設置してください。



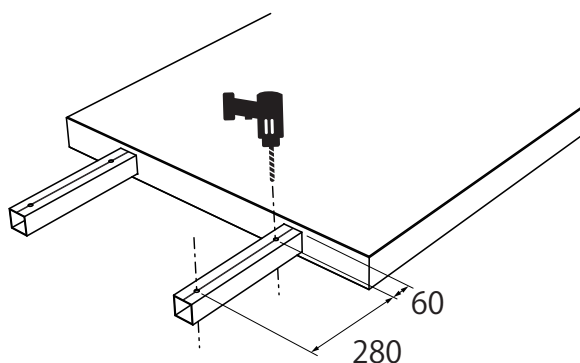
オプションを取り付ける場合 P.16 へ

## ◆ 隣地境界への施工

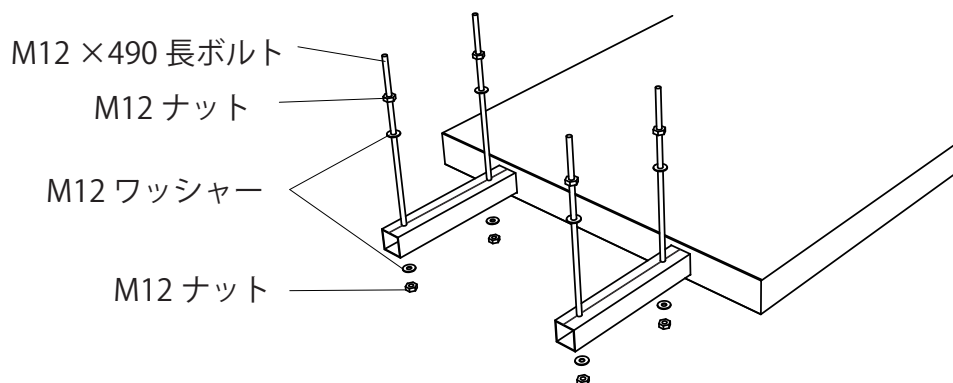
1～5の手順は、ルポD・E・F 全て共通です。

※隣地境界への施工では、偏心基礎金具セットB（別途）が必要です。

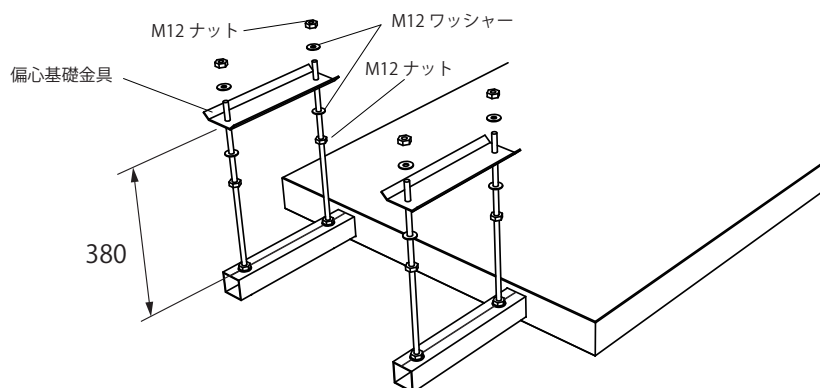
- 1 P.4 の手順 1・2 と同様に基礎穴を設け、碎石を敷いた上に捨コンを打ち、アルミ支柱と笠木脱落防止用ねじを取り付けます。
- 2 下図に従ってアルミ支柱にΦ12 の貫通穴をあけます。



- 3 アルミ支柱にナットとワッシャーで M12 長ボルトを固定します。



- 4 M12 長ボルトに対して、偏心基礎金具の両側からナットとワッシャーで固定します。

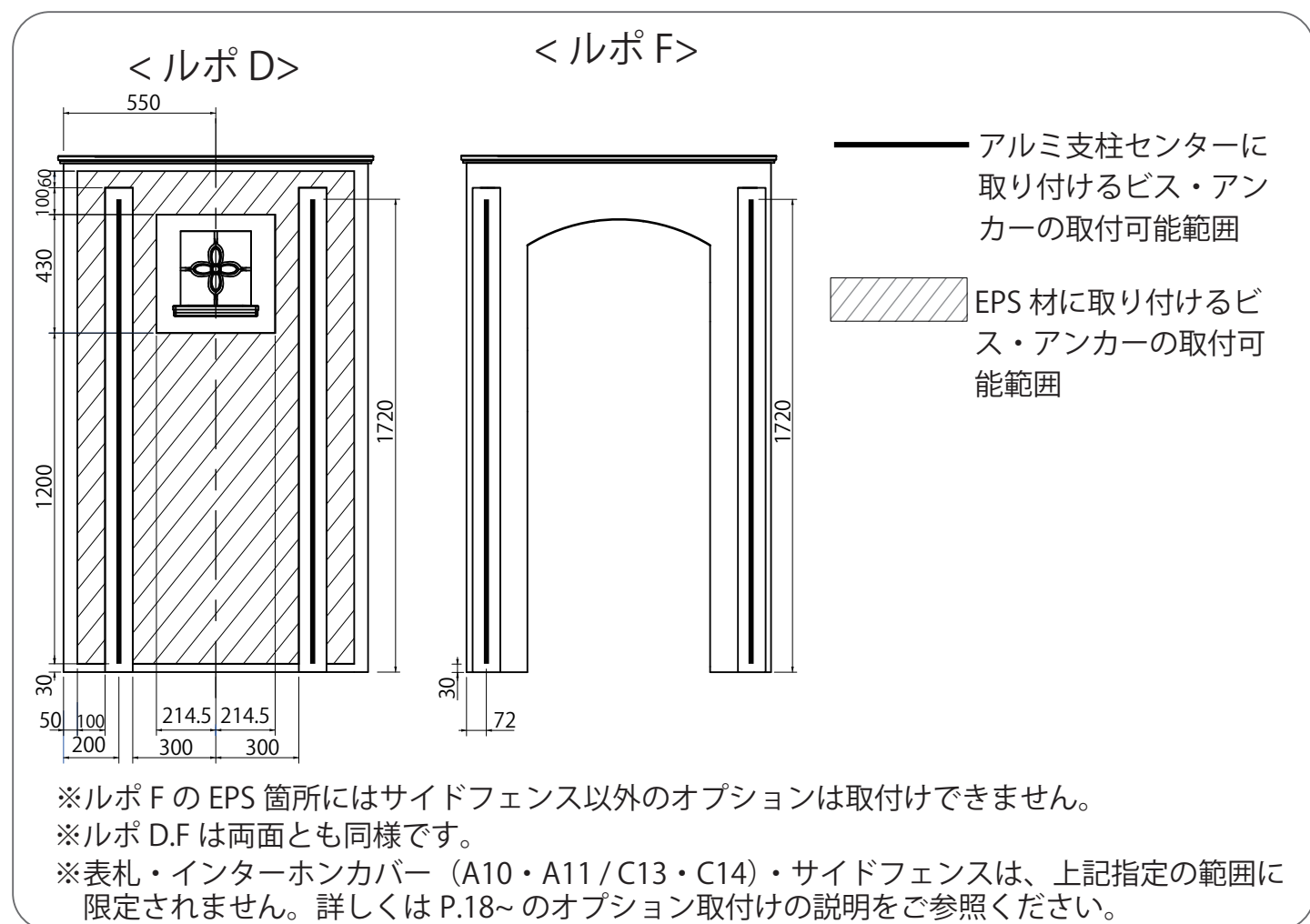


- 5 P.4 の手順 3 から引き続き施工してください。

## ◆ オプションの取付

アルミ支柱に取り付けるオプションとEPS材に取り付けるオプションの2つに分かれます。  
 下図に従ってオプションを取り付けてください。

### オプション取付位置図 (単位:mm)



### 取付可能オプション一覧 ※オプションによって取付可能な位置が異なります。

ページ	オプション名称	EPS 材	アルミ支柱	ページ	オプション名称	EPS 材	アルミ支柱
18	ウォールウォッシャー (100V、12V)	該当ページをご参照ください。		21	トレリス	○	×
18	グラスランプ	×	○	22	サイドフェンス	該当ページをご参照ください。	
19	表札 (A-12 は取付不可)	該当ページをご参照ください。		22	フラワーハンガー ミニフック ホースハンガー	×	○
19	インターホン (市販)	×	○	23	ツールハンガー Type A/B	○	×
20	インターホンカバー (A10・A11/C13・C14)	該当ページをご参照ください。		24	ウォールシェルフ + シェルフホルダー	○	×
20	インターホンカバー (ウッドタイプ A/R 外付)	×	○		プランターバスケット	○	×
21	壁掛ポスト	○	×				

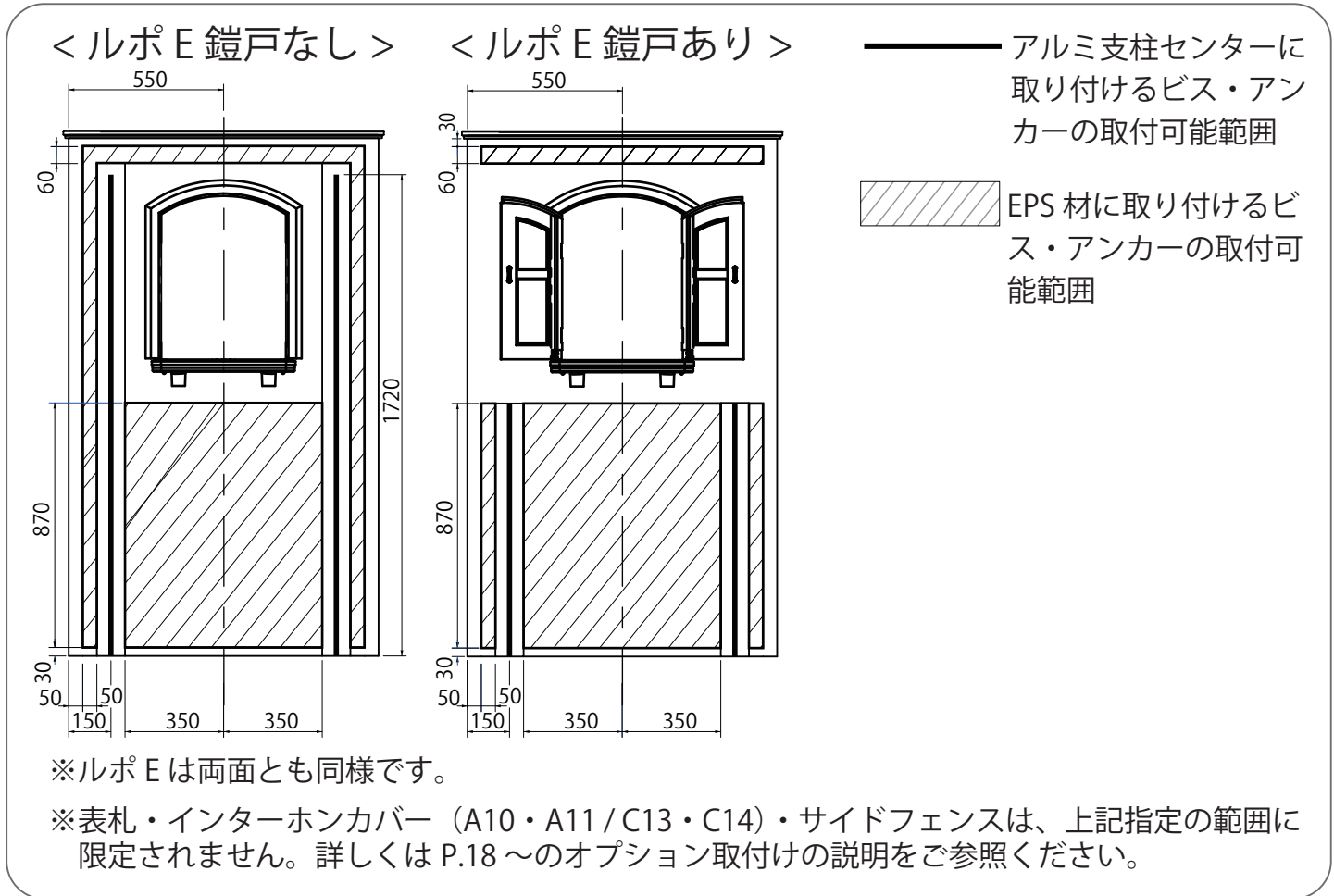
※プランターバスケットの取付け方についてはプランターバスケット A 取付説明書をご確認ください。



## ◆ オプションの取付

アルミ支柱に取り付けるオプションとEPS材に取り付けるオプションの2つに分かれます。  
下図に従ってオプションを取り付けてください。

### オプション取付位置図 (単位:mm)



### 取付可能オプション一覧 ※オプションによって取付可能な位置が異なります。

ページ	オプション名称	EPS 材	アルミ支柱
18	ウォールウォッシャー (100V、12V)	該当ページをご参照ください。	
18	グラスランプ	×	○
19	表札 (A-12 は取付不可)	該当ページをご参照ください。	
19	インターホン (市販)	×	○
20	インターホンカバー (A10・A11/C13・C14)	該当ページをご参照ください。	
20	インターホンカバー (ウッドタイプ A/R 外付)	×	○
21	壁掛ポスト	○	×

ページ	オプション名称	EPS 材	アルミ支柱
21	トレリス	○	×
22	サイドフェンス	該当ページをご参照ください。	
22	フラワーハンガー ミニフック ホースハンガー	×	○
23	ツールハンガー Type A/B	○	×
24	ウォールシェルフ + シェルフホルダー	○	×
	プランターバスケット	○	×

※プランターバスケットの取付け方についてはプランターバスケット A 取付説明書をご確認ください。

## ウォールウォッシャー 100V / 12V

取付に必要な部材	必要数	封入数
カールプラグ取付セット A	1 セット	2 本

別途ご準備いただく物	個数
2液性エポキシ接着剤 (5~30分硬化型)	-

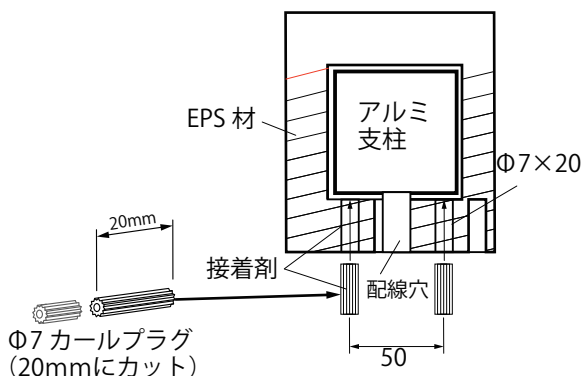


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

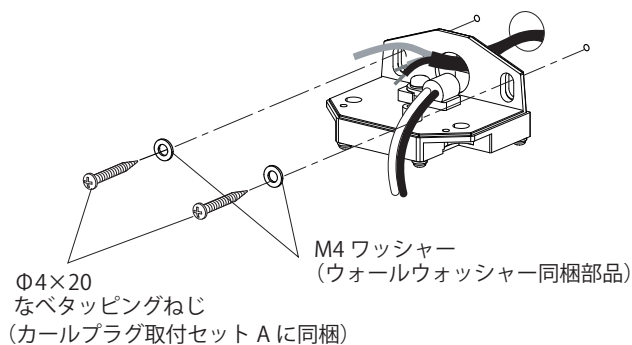
※下図以外の詳しい取付項目につきましては、ウォールウォッシャーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うとカールプラグが共回りする恐れがあります。

- [1] 製品内のアルミ支柱に向けて $\Phi 7 \times 20$ の穴を2箇所あけ、接着剤を充填してください。20mmに切断したカールプラグの外周にも接着剤を塗り穴に押し込みます。



- [2] [1]の接着剤が十分に硬化した後にウォールウォッシャーを取付けます。

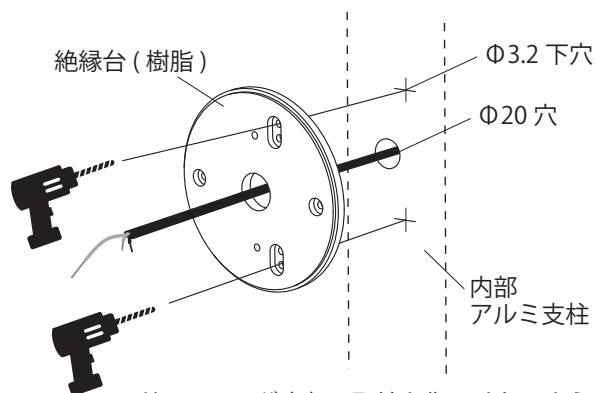


## グラスランプ (全種)

※各種グラスランプは、本体に挿入したアルミ支柱センターにのみ取付が可能です。  
それ以外の場所には取付が出来ませんのでご注意ください。

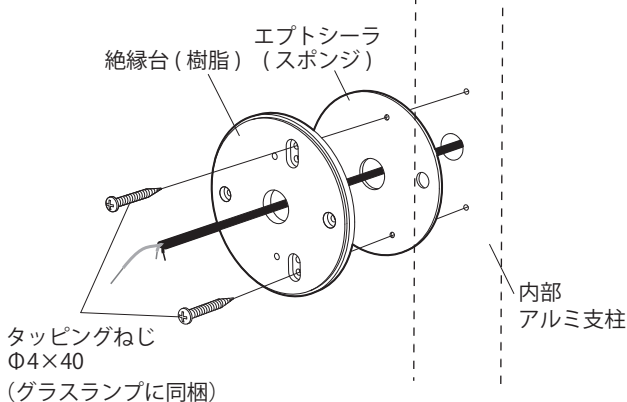
※取付面に絶縁台を固定する際の取付方法が通常と異なります。下図に従い絶縁台を取り付けてください。下図以降の取付方法につきましては、グラスランプに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

- [1] 壁面にあけた配線穴に絶縁台の穴を合わせ、下図の2ヶ所に $\Phi 3.2$ のキリで穴をあけます。



※ドリルの刃が内部の配線を傷つけないように十分注意して穴をあけてください。

- [2] 取付面に絶縁台を固定します。



※以降の取付方法はグラスランプの取付説明書をご参照ください。

## 表札

※A-12は取り付けられません。

取付に必要な部材	必要数	封入数
パイプセット A	1セット	4本

別途ご準備いただく物	個数
2液性エポキシ接着剤 (5~30分硬化型)	-

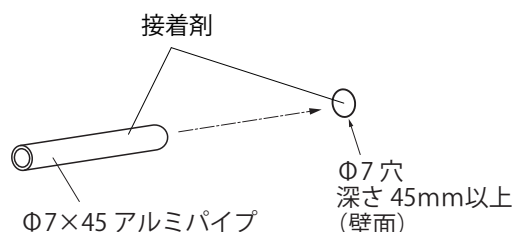


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

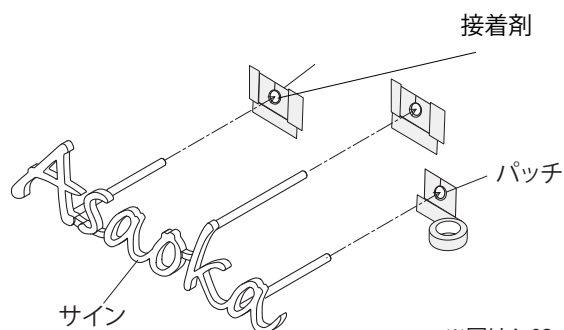
※下図以降の詳しい取付工程につきましては、各種表札に同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ7アルミパイプが内部アルミ支柱に干渉する場合は、アルミパイプを長さ20mmに切断してください。また、それに合わせて表札の足も切断・調節してください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] アルミパイプの中に接着剤を充填し、表札の足を挿入して取り付けます。



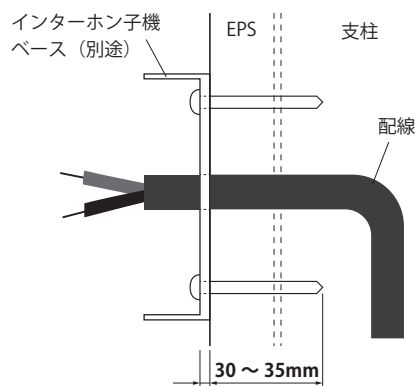
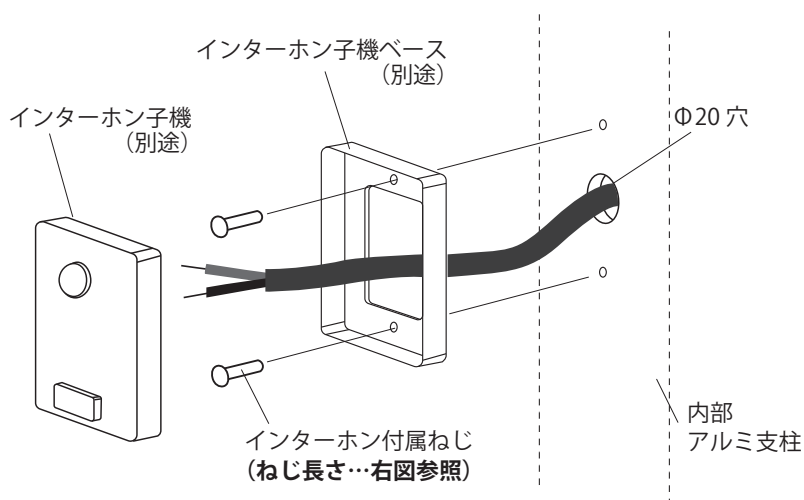
※図はA-03

## インターホン (市販)

別途ご準備いただく物	個数
インターホン子機ベース厚み+30~35mmのステンレス製ねじ (インターホン付属ねじが上記に該当しない場合のみ)	2

※インターホンは、**本体に挿入したアルミ支柱センターにのみ**取付が可能です。それ以外の場所には取付が出来ませんのでご注意ください。

※組立方法については、お手持ちのインターホンの取付説明書をご参照ください。



※ねじの長さは、インターホン子機ベース厚み+30~35mmを守ってください。長すぎると内部の配線を傷つける恐れがあります。

## インターホンカバー (A10・A11/C13・C14)

取付に必要な部材	必要数	封入数
パイプセット A	1 セット	4 本

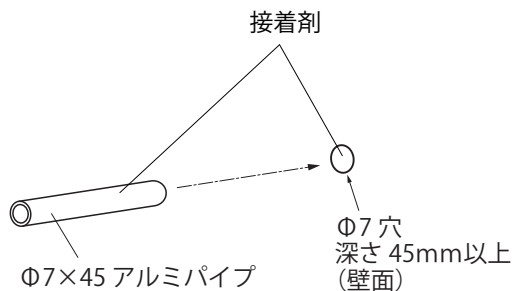
別途ご準備いただく物	個数
2液性エポキシ接着剤 (5~30分硬化型)	-



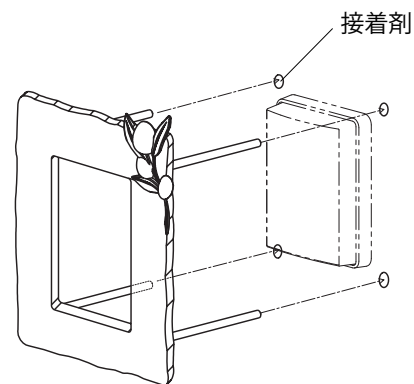
溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、インターホンカバーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] アルミパイプの中に接着剤を充填し、インターホンカバーの足を挿入して取り付けます。



## インターホンカバー (ウッドタイプ A/R 外付)

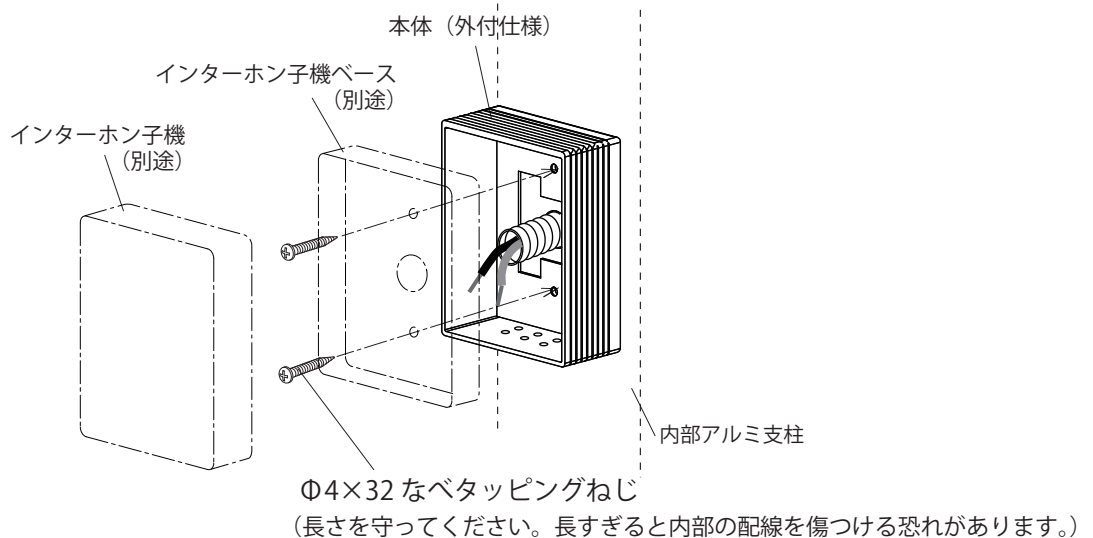
別途ご準備いただく物	必要数
Φ4×32 なベタッピングねじ (ステンレス製)	2 本
2液性エポキシ接着剤 (5~30分硬化型)	-



溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

※同梱のカーブプラグは使用しません。ご注意ください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、ウッドタイプA/Rに同梱の取付説明書をご参照ください。



## 壁掛ポスト

取付に必要な部材	必要数	合計封入数
樹脂アンカーセット A	2 セット	4 個

別途ご準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

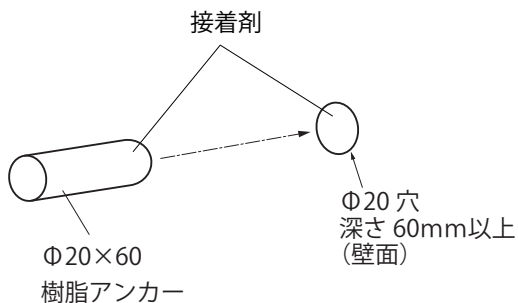


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

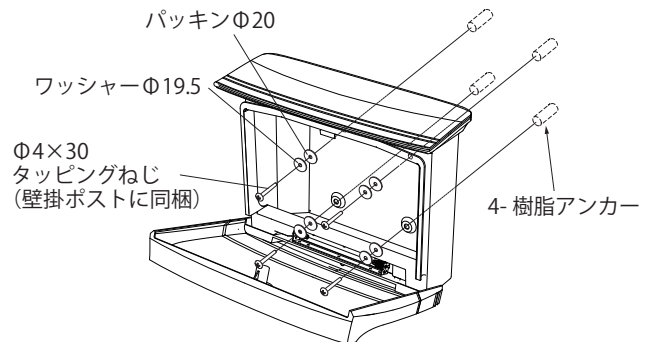
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、壁掛ポストに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ20の樹脂アンカーが内部アルミ支柱に干渉しないように位置決めしてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] [1] の接着剤が十分に硬化した後、取付けた樹脂アンカーにΦ3.2の下穴をあけ、Φ4タッピングねじでポストを取り付けます。



※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りする恐れがあります。

## トレリス

取付に必要な部材	必要数	合計封入数
タッピングビス取付セット A	2 セット	6 本

別途ご準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

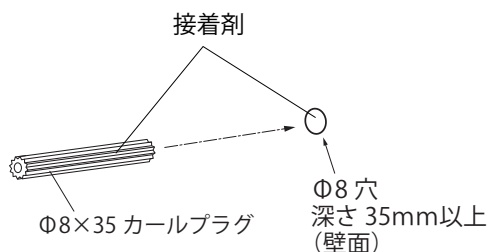


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

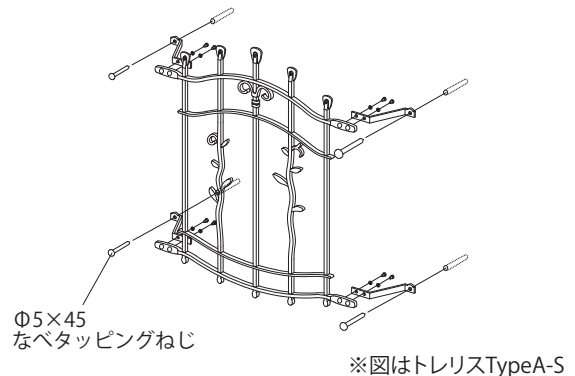
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、トレリスに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※必ず、P.8のオプション取付位置図に従って取り付けてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。カールプラグの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] トレリスを取り付けます。



※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うとカールプラグが共回りする恐れがあります。

## サイドフェンス

別途ご準備いただくもの	必要数
Φ8×35 カールプラグ	2本
2液性エポキシ接着剤 (5~30分硬化型)	-

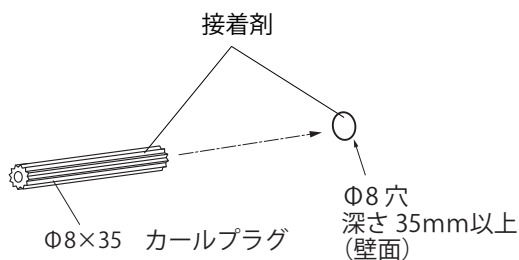


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、サイドフェンスに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※サイドフェンスの足は、取付説明書に従って確実に基礎で固定してください。基礎固定が不十分だとフェンスがぐらついたり倒れる場合があります。

[1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。カールプラグの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



[2] [1]の接着剤が十分に硬化した後にサイドフェンスを取り付けます。



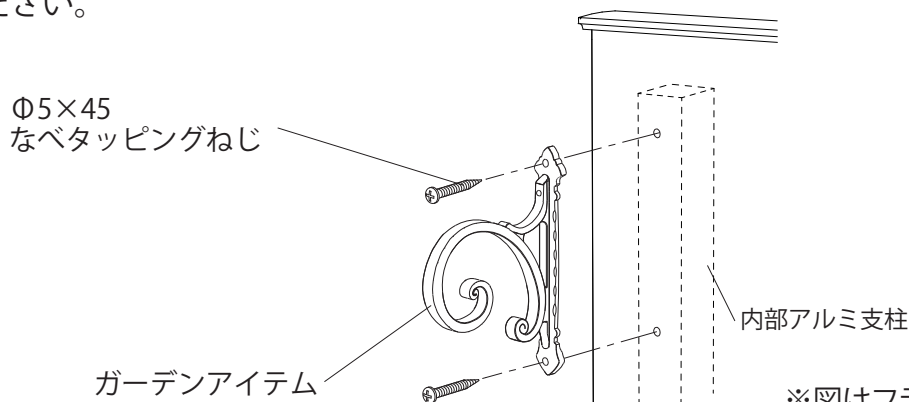
※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うとカールプラグが共回りする恐れがあります。

## ガーデンアイテム (フラワーハンガー、ミニフック、ホースハンガー)

取付に必要な部材	必要数	封入数
タッピングビス取付セット A (カールプラグは使用しません)	1セット	3本

※上記のガーデンアイテムは、**本体に挿入したアルミ支柱センターにのみ**取付が可能です。それ以外の場所には取付が出来ませんのでご注意ください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、各種アイテムに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。



※図はフラワーハンガー Type B

## ガーデンアイテム (ツールハンガー TypeA/B)

取付に必要な部材	必要数	封入数
タッピングビス取付セット A (カールプラグは使用しません)	1 セット	3 本
樹脂アンカーセット A	1 セット	2 個

別途ご準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

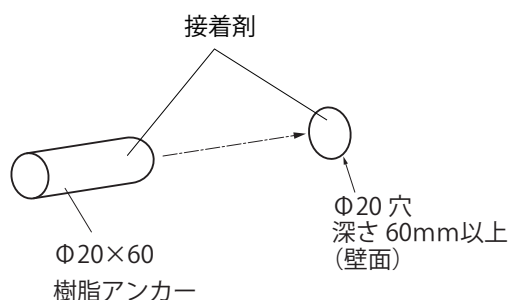


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

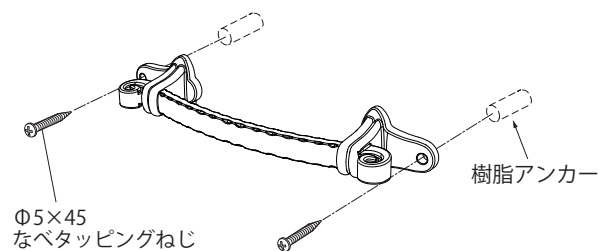
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、ツールハンガーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ20の樹脂アンカーが内部アルミ支柱に干渉しないように位置決めしてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] [1] の接着剤が十分に硬化した後、取付けた樹脂アンカーにΦ4.3の下穴をあけて、Φ5タッピングねじでツールハンガーを取り付けます。



※図はツールハンガーTypeB

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りする恐れがあります。

## ガーデンアイテム (ウォールシェルフ+シェルフホルダー)

取付に必要な部材	必要数	合計封入数
樹脂アンカーセット A	シェルフホルダーが 1個の場合 2セット	4本
	2個の場合 3セット	6本

別途ご準備いただく物	個数
2液性エポキシ接着剤 (5~30分硬化型)	-

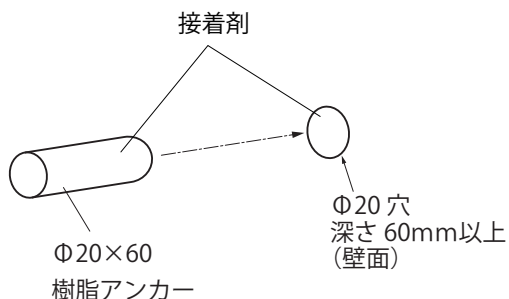


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

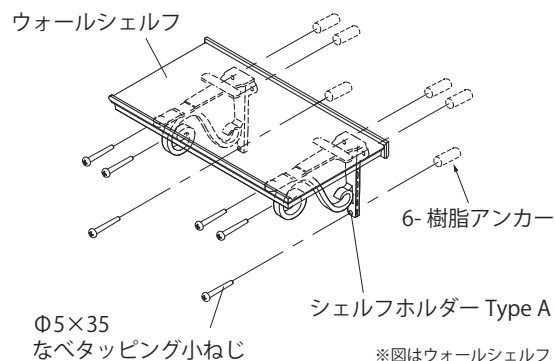
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、シェルフホルダーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ20の樹脂アンカーが内部アルミ支柱に干渉しないように位置決めしてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] [1]の接着剤が十分に硬化した後、取付けた樹脂アンカーにΦ4.3の下穴をあけて、Φ5タッピングねじでウォールシェルフを取り付けます。



※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りする恐れがあります。

### 工事店様へ

- ◆必ず、本書の記載内容に従い施工を行ってください。
- ◆改造、変更はしないでください。
- ◆施工終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。

〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45  
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190  
株式会社 傳來工房

DPR-IM2  
2023.04A

